

争議を解決し
安全・安心の航空を

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1041 (37-4) 2023年1月26日

苦しい生活実感6割超

人員不足している86%

23春闘統一アンケート結果
＜中間集計＞

単位：%

回収枚数 939 枚		カッコ内前年
生活実態	かなり苦しい	37.4 (23.1)
	やや苦しい	26.8 (35.8)
	まあまあだ	31.4 (33.5)
	ややゆとりがある	3.0 (5.6)
	ゆとりがある	1.3 (2.0)
人員	不足している	86.1 (66.4)
	足りている	13.9 (33.6)
業務実態	忙しくなった	59.4 (44.9)
	相変わらず忙しい	22.0 (21.6)
	変わらない	17.9 (30.3)
	楽になった	0.7 (3.2)
関心事 (3つ選択)	健康不安	26.6 (20.4)
	雇用不安	11.2 (16.3)
	航空安全への不安	9.3 (8.5)
	技術力・スキル低下	18.7 (14.5)
	旅客サービス低下	3.9 (3.5)
	労働条件切り下げ不安	23.3 (25.2)
	組合力低下	6.9 (11.6)
	コロナや感染対策	9.2 (16.1)
安全	安全は向上している	21.7 (9.3)
	安全は低下している	18.5 (28.2)
	どちらとも言えない	59.8 (62.5)
	ヒヤリハット経験	21.6 (26.1)
	ヒヤリハットなし	78.4 (73.9)
※項目ごとの回答率		

1年前に比べて私たちの生活はより一層厳しさを増し、人員不足を背景に職場の繁忙感も高まっている実態が、航空連が行った「春闘統一アンケート」で明らかとなりました。(表参照)

アンケートによると、生活実態では「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせて64.2%に上り、生活の厳しさを訴える層が広がっています。コロナ禍で引き下げられた賃金、そして相次ぐと生活用品などの値上げで家計に重くのしかかっています。

人員については、「不足している」86.1%に対し「足りている」13.9%と圧倒的多数が人員不足を感じ、業務実態では「忙しくなった」59.4%、「相変わらず忙しい」22%と繁忙感は8割以上に上りました。国内線はほぼ回復し国際線の回復傾向も鮮明になるなか、回復を支える職場の人員不足は誰の目にも明らかになっており、人員確保は優先的緊急の課題になっていることを裏付けました。

関心事の3つの選択では、関心の高い順に「健康不安」26.6%、「労働条件切り下げ不安」23.3%、「技術力・スキル低下」18.7%となりました。勤務改善を求める声やコロナ禍での賃金引き下げによる将来不安、コロナ禍での技量面への懸念が反映された結果と言えます。不安や懸念を払拭するための対応が求められます。

安全関係では、「安全は向上している」21.7%に対し「低下している」18.5%、「どちらとも言えない」59.8%でした。「ヒヤリハット経験」21.6%、「ヒヤリ

ハットなし」78.4%でした。ヒヤリハット経験は4人に1人の割合です。

中間集計の段階ですが、生活の厳しさや職場の忙しさを裏付ける結果となりました。暮らしを守る賃金引上げ、職場安全や健康を守れる人員確保と勤務改善に向け春闘がんばりましょう。

以上